

令和5年 台風第6号が 教えてくれたもの

正常性バイアス^{※注}が働くからこそ

「自分は大丈夫」「今まで何ともなかった」「今度も大丈夫だろう」など、これまでの経験や先入観から、災害の危険を自分ごとと捉えず、対策や避難がおくることがあります。

台風被害を最小限に抑えるには自分ごととしての「日頃の意識」が大切です!! 台風へ必要な“対策”と“行動”を一緒に考えませんか？

※正常性バイアスとは
異常事態に直面した際に、それを正常な範囲内だと錯覚してしまう心理現象のことです。災害時など、危険が迫っている状況でも「自分は大丈夫」「まだ大丈夫」と思い込んでしまうことがあります。



土砂で車両埋没している様子
場所:うるま市川田



倒木により道路寸断
場所:うるま市宮城島



多数の避難者を受け入れる
場所:うるま市役所本庁舎

私は大丈夫だろう・・・

本当に大丈夫？ 過去の教訓から考える

令和5年7月、台風第6号が沖縄県を襲い、本市でも甚大な被害が各地で発生しました。

停電は約3万户を数え、1週間以上復旧が遅れた地域や、土砂災害・冠水による自動車等の破損、床上浸水など私たちの日常生活は脅かされました。

毎年のようにくる台風。台風への備えと行動の準備はできていますか。

今一度、考えてみませんか。

被災者インタビュー



特にツラかったのは、停電×断水です。いつもの台風だろうと思っていたので、生活に必要な水が全くありませんでした。1週間の断水中、トイレをギリギリまで我慢しなければいけなかったのは本当に地獄のようでした。また、洗い物を控えるために、カップ麺のみを食べていました。普通の食事ができない1週間は、精神的なダメージが大きかったです。2年経った今も忘れもしません。